



ニコニコ BOX

にこにこ BOX 小委員長 根本 和志

黒澤信之様 (分区幹事)、橋本哲弥会員、菅野守芳会員、善方邦雄会員、根本和志会員、秋山和久会員、宍戸光英会員、佐藤百合会員、安部敏弘会員、齋藤敏夫会員、佐藤壮一郎会員

- \* 米山記念寄与者…善方邦雄会員
- \* ロータリー財団…

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 小委員長 根本 和志

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
35名	15名	42%	4名	54%

ニコニコ BOX

目標額	550,000円
小計	12,000円
累計	128,000円



二本松あだたらロータリークラブ  
週報 第9号



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-2022年度  
国際ロータリーのテーマ

通算/第1293回 令和3年10月21日 会場/二本松商工会議所

会長 阿部 佳文 副会長 善方 邦雄 クラブ会報 太田 恭寿  
会長エレクト 藤井 利則 幹事 菅野 守芳

副会長あいさつ

副会長 善方 邦雄



本日の例会は、会長が都合により欠席となりましたので副会長の善方が、ご挨拶を申し上げます。本日のご来賓様をご紹介を致します。

県北第一分区 ガバナー補佐 佐藤宗弘様です。分区幹事 黒澤信之様です。

ガバナー補佐訪問は、当クラブには第2回目の訪問となります。

また、私がガバナー補佐の時は、佐藤宗弘様はその当時福島西ロータリークラブの会長をされていました。私がガバナー補佐の在任中は佐藤宗弘様には大変お世話になりご協力を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。今現在コロナの影響でロータリーの活動計画が計画通りに進まない事に苦勞されていると思いますが頑張ってくださいようお願いいたします。

本日のガバナー補佐スピーチ宜しくお願い致します。

本日のご来賓様

県北第一分区

ガバナー補佐

佐藤 宗弘様

分区幹事

黒澤 信之様

(福島西ロータリークラブ所属)

本日のプログラム

ガバナー補佐訪問

10・11月のプログラム

- 第1294回例会：10月28日(木)／芋煮会(なごみの郷 香華)
- 11月4日(木)／休会
- 第1295回例会：11月11日(木)／地区大会報告会
- 第1296回例会：11月18日(木)／会員スピーチ
- 11月25日(木)／休会

幹事報告

「都市公園清掃」ご案内

- ◆日時/令和3年11月6日(土) 現地集合
- ◆場所/るり池周辺・洗心亭
- ◆時間/午前6時30分～
- ※当日は、竹ぼうき・くま手・軍手等

- 国際ロータリークラブ会長 シェカール・メータ(インド)
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー 志賀 利彦 (いわき小名浜ロータリークラブ)
- 県北第一分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘 (福島西ロータリークラブ)

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 一、真実かどうか
- 二、みんなに公平か
- 三、好意と友情を深めるか
- 四、みんなの為になるかどうか

- 創立 1993.6.30
- 承認 1993.9.10
- 認証状伝達式 1993.11.8
- 地区番号 2530
- クラブ番号 29750
- 例会日 毎週木曜日(12:30～13:30)

- 例会場 二本松商工会議所
- 事務局 〒964-8577 福島県二本松市本町 1-60-1 二本松商工会議所
- Tel0243-23-3211
- Fax0243-23-6677



## ガバナー補佐クラブ訪問スピーチ

RI第2530地区ガバナー補佐 佐藤 宗弘

### ロータリーの構造および 国際ロータリーの変化・認識について

ロータリークラブは200以上の国と地域に525の地区があり、それらの地区がさらに34のゾーンに分かれております。日本には34の地区があり、3つのゾーンから成っております。9月24日現在、世界で36,883クラブ1,191,640名、国内では2,223クラブ84,597名となっております。

ロータアクトクラブは、世界で10,643クラブ224,135名、国内で300クラブ2,619名となっております。

国際ロータリー理事会のメンバーは定員19名に事務総長が幹事として加わって構成されております。

ロータリアンは100年以上にわたり、ロータリーの価値観と伝統をあらゆる基本理念に従って行動してきました。「四つのテスト」「ロータリーの目的」「5大奉仕部門」は親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップというロータリアンの中核的価値観をあらわしています。

現在の国際ロータリーの戦略計画は、「ロータリーのビジョン声明」「ロータリーの中核的価値観」「ロータリーの行動計画」4項目の関係になっております。

ロータリーのビジョン声明：「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」このビジョン声明を実現するために行動計画が策定されました。

このように過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を続け、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。これが「ロータリーの中核的価値観」です。

ロータリーの創立時は「親睦」「奉仕」「一業種一会員」など、共有する価値観がありました。その後ロータリーは「奉仕」「親睦」「高潔」「リーダー育成」などを共有する価値観へと変化してきました。そして現在は、「中核的価値観」「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」と変化しています。

さらに、今後を見据えて「多様性」「公平さ」「インクルージョン」(DEI)の3つが求められております。現在、ロータリーの最優先事項は、会員基盤の成長と多様化によって地域社会をより良く反映したクラブづくり、あらゆる文化、経験、アイデンティティの人の参加を促すことです。ロータリーは、様々な人が参加できる開放的な組織、全ての人に公平で、善意を築き、社会に役立つ組織づくりに努めています。

これらのことを学び活かすことにより、ロータリークラブ、ロータリアンの成長は新時代を切り開くきっかけになるものと思っております。

ポールハリスの友達を作ろうから116年が経過した今日、ビジョン声明、中核的価値観、行動計画と新しいロータリークラブに生まれ変わろうと努力しております。親睦を中心としたロータ

リークラブから奉仕が出来るロータリークラブに変わろうとしています。時代の要求ニーズに合うロータリーに変化していくことが大切だと考えます。

ポリオ根絶を目指して世界ポリオデーが今月24日に開催されます。ポリオとは感染性の高い病気で、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。ポリオウイルスは人から人へ感染し、神経系を侵すことで身体の麻痺を引き起こし、死に至らしめることもあります。治療法はありませんがワクチンで予防が可能です。日本では1980年を最後に症例はありませんが海外からポリオウイルスが入る可能性があるため、乳児へのポリオ予防接種が行われています。ポリオ根絶が実現されれば、天然痘に続いて根絶される人類史上2番目の疾病となります。

1988年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例がありました。現在では、長年のポリオ根絶活動によってポリオの症例は99.9%減少しており、野生型ポリオウイルスの症例が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ウイルスは他国へと流入する危険があり、ロータリーはポリオ根絶が完遂されるまで、引き続き活動を継続していかなければなりません。

国際ロータリーは100年以上続いた地区制度の見直しを発表しております。ロータリーの令和3年2月号17ページに昨年11月に開催された第49回ロータリー研究会のレポートが掲載されておりましたが記事では殆ど説明がない、ロータリー未来形成委員会の報告は衝撃的な内容です。

世界のロータリーの状況を踏まえてRIと財団双方を大胆に改革する提案です。

辰野RI理事によれば大まかに言うと、地区をなくし、結果ガバナー、ガバナー補佐がなくなり、世界を言語・文化等で20-30の地域に分け、3年任期の地域を配置し、その下に25-30のクラブを支援する2年任期のセクショナルリーダーを配置するというものです。辰野RI理事が作成した資料を基に若干、詳細なお話をさせていただきます。

2018年7月6名構成のロータリー未来形成委員会が設立され、同年10月委員会が開始されました。この組織の変更は、2022年の規定審議会(RIの立法機関)で承認されると、パイロット開始から6年間で全世界での展開・試験的な運用がなされ、つまり2030年頃から地区やガバナー制度がなくなり、新しいガバナンス体制がスタートする可能性があります。未来形成委員会の審議内容は、確定的なものではなく、内容は流動的です。

この未来形成の提案を実現させようとするRI理事会や未来形成委員会の強い意志は感じられますがこの提案へは期待と不安の両方があります。何分にも情報不足であり、暫くの間、ロータリーはこの問題で揺れ動くことになりそうですが、その場その場の情報で一喜一憂することなく、今後提供される内容を注視して熟考の上で判断していただきたいと思っております。

善意の人々の集まりであるロータリーの運営は時間がかかっても、出来るだけ多くの会員の理解を得ながら人々の善意に働きかけるものであって欲しいと思っております。いずれにしても、システムがどのように変わっても、あらゆるロータリーの活動の主役はロータリアンであり、一つのクラブであることに変わりはありません。私たちが目指すのは「ロータリーの親睦と奉仕を通して自分を磨き続け、地域社会の発展に貢献し、更には世界平和を実現させる」ことでもあります。これからも、学び・考え・伝え・実践することを積み重ね、自分の信じる道を堂々と歩んで行きましょう。ご清聴有り難うございました。